

選定基準

(団体名：)
(委員名：)

◆評価基準
大変良い：5 良い：4 平均的である：3 やや劣る：2 劣る：1 不十分：0

※委託料提示額の配点判断基準
基準費用を超えている：0点 基準費用の97%を超え100%以下：3点 基準費用の90%を超え97%以下：4点 基準費用の90%以下：5点

・全委員の各大項目（1～3）ごとの点数及び合計点数の和の60%を最低水準点とし、各大項目及び合計点数が最低水準点に達していない団体は順位を付しません。
・各委員の合計点数の平均点と比較し、150%以上又は50%以下の得点を付した委員の採点は他の団体の採点を含めて除外するものとなります。

審査項目		審査内容	審査基準	配点	評価係数	採点	コメント（必要に応じてご記入下さい）
1 安定的な運営（満点90点）				90			
危機管理体制	(1) 管理の基本方針について	児童福祉法及び関係法令等の主旨を理解し、かつ運営に意欲がある	・募集要項、仕様書との整合性が保たれているか ・運営に対する意欲が見られるか	10	2	0・1・2・3・4・5	
	(2) 日常時の安全管理について	日常の事故防止や防犯、防災に関する対策が徹底されている	・日常的に職員に安全管理が徹底されているか ・入所者が安心して暮らすことができる対策が講じられているか ・マニュアル等の作成について具体的な考えを持っているか	10	2	0・1・2・3・4・5	
	(3) 施設の維持・管理について	入居者が快適かつ衛生的に生活できるように施設及び設備を良好に維持できる	・日常及び定期清掃の計画は適切か ・設備の定期保守点検の計画は適切か ・施設の軽微な修繕計画は適切か	5	1	0・1・2・3・4・5	
	(4) リスク管理について	事前に想定されるリスクを把握し、そのリスクに備えた安定した管理ができる	・事前に想定されるリスクを把握し、そのリスクに備えた安定した管理ができるか	5	1	0・1・2・3・4・5	
	(5) 緊急時の体制について	緊急時や災害発生時の対応・体制が明確であり、危機管理意識が高い	・災害対応マニュアルや事故対応マニュアルの整備がされているか ・緊急時の対応・体制が明確に示されているか ・市被措置児童虐待マニュアルに基づき適切に対応ができるか	5	1	0・1・2・3・4・5	
	(6) 文書の管理・保管、情報公開の推進について	文書の管理を適切に行っており、情報公開に対しても適正に対応できる	・文書の登録管理がなされているか ・文書の保管予定場所は適切か ・情報公開を適正に行える体制の整備されるか	5	1	0・1・2・3・4・5	
	(7) 個人情報保護について	個人情報の保護に対する意識が高く、安心して子どもを預けることができる	・個人情報保護が徹底され、入居者の安全が確保されるか ・保護規程の作成など対策が適切であるか	10	2	0・1・2・3・4・5	
	(8) 類似施設の管理運営実績について	社会福祉施設の運営に実績がある	・これまでの社会福祉施設運営について経験及び実績があるか	5	1	0・1・2・3・4・5	
	(9) 財務状況について	安定した財政基盤を持ち、運営の継続性が保障できる	・法人の保有財産、資産運用に安定感があるか ・適正な会計処理が確保されているか	10	2	0・1・2・3・4・5	
人員配置計画	(10) 人員配置について	支援の質を安定して確保できる職員の配置となっており、安定かつ継続性のある施設運営を行うための人材確保が図られている	・基準条例及び仕様書の人員配置計画に合致した人材の確保ができるか ・欠員が生じた際の対応は適切であるか	15	3	0・1・2・3・4・5	
	(11) 職員の資質の向上について	職員の資質の向上が図られており、職員育成への取組みがなされている	・人材育成の方針が明確か ・研修への参加が積極的であるか	10	2	0・1・2・3・4・5	
2 サービスの向上（満点70点）				70			
施設運営	(1) 自立支援計画の策定について	自立支援計画作成について、基本方針に基づき、入所者の状況に応じた支援計画が立てられる	・定期的に母及び児童と面談を行っているか ・課題を整理した上で、状況に応じた具体的なかつ適切な支援計画を作成できるか	15	3	0・1・2・3・4・5	
	(2) 年間行事計画の策定について	年間行事計画について、必要な訓練や季節に応じた行事等が適切に計画されている	・必要な訓練計画や、社会参加への動機付けとなる季節感のある行事が計画が示されているか	5	1	0・1・2・3・4・5	
	(3) 児童の支援について	児童の健全育成及び学習支援等に関する取組み体制が整えられている	・登園・登校支援や、学習習慣の定着や学力向上に向けた具体的な取組の内容が示されているか	5	1	0・1・2・3・4・5	
	(4) 退所に向けた支援について	退所に向け、関係機関等との連携に対する意識があるか	・退所に向けての支援について、具体的な考えを持っているか	10	2	0・1・2・3・4・5	
	(5) 退所後の支援について	利用者が退所した後の支援について適切に計画されている	・退所後の母子に対する支援策について具体的な考えを持っているか	5	1	0・1・2・3・4・5	
	(6) 入所者の声の反映について	苦情や要望に対応する体制が明確で、迅速かつ的確な対応が図られている	・苦情解決体制があるか ・要望等を聞く配慮ができるか ・こどもの声を聴く体制が整えられるか	5	1	0・1・2・3・4・5	
	(7) 入所促進の啓発について	入所者確保及び利用促進を積極的に行っている	・入所促進のための具体策があるか	10	2	0・1・2・3・4・5	
	(8) 自主事業の提案	新たな事業や取組などが提案されている	・母子生活支援施設の資源及び団体の強みを有効に活用できるものであるか ・実現性がある事業の提案であるか ・入所者の安全を脅かすもの、不利益になるものでないか	15	3	0・1・2・3・4・5	
3 経費（満点40）				40			
委託料	(1) 委託料について		委託料申請額※	20	4	0・1・2・3・4・5	
		収支計画が適切であり、安定的な経営と経費縮減が見込めるか。	・運営に必要な費用が具体的に記載されているか ・基準費用に対し運営可能であるか ・収支予算書が適切であり、経費の削減について具体的な対策があるか	20	4	0・1・2・3・4・5	
合計				200			